

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-001	事務事業名	交通安全施設設置（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
1	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	交差点改良工事や歩道改良、防護柵、道路標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線などの交通安全施設の設置を行う。  (令和5年度実績) 要望等対応件数 1,625件			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	交通事故件数や市民からの施設設置要望等を勘案し、必要性の高い箇所を精査したり、定期的なパトロールを実施し、道路施設の被害を未然にかつ最小限に防ぐなど、効果的・率的に交通安全施設の充実・更新を行った。  今後とも交通管理者等と連携しながら、道路管理者として必要な交通安全施設の設置など交通安全対策を進め、歩行者・車両等の安全を図る必要がある。			
				うち一般財源		131,605	45,383	67,700				
				主な 内 訳	交通安全施設維持 管理計画等委託料	5,430	5,099	8,500				
					交通安全施設 設置工事費	278,146	215,184	226,500				
					照明ポール等資材購入費	5,085	0	0				
					負担金	3,557	0	0				
人件費(b)				61,664	49,248	41,310						
年間経費(c)=(a)+(b)		353,882	269,531	276,310								
No.	事業番号	019-002	事務事業名	舗装補修マネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
2	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	本市で管理する道路約2,100kmのうち、幹線道路等約320kmについて、舗装の長寿命化計画を策定し、定期点検による状態把握・診断を行い、予防保全の概念を取り入れ、舗装の補修・更新を計画的に実施する。  その結果、道路を安全・安心に通行できる道路機能を確保し、また、維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの削減を図る。  (令和5年度実績) 舗装補修工事 約8.8km			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	舗装の長寿命化計画に基づき事業を実施することで、将来の財政負担を縮減した。  また、防災・安全交付金や公共施設等適正管理推進事業債を財源に含むことで、本市の歳出を削減した。  資材価格の高騰などの社会的影響により、必要となる維持管理費が増加することによる計画の遅れが懸念されるが、新技術の導入による低コスト化に向けた取組みや、財源の確保に向けた国への要望を行う必要がある。			
				うち一般財源		65,688	22,465	80,366				
				主な 内 訳	計画策定等委託料	43,525	35,289	56,000				
					舗装補修工事	761,713	842,655	901,500				
					人件費(b)		82,656	90,882				85,860
					年間経費(c)=(a)+(b)		887,894	968,826				1,043,360

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-003	事務事業名	一般道路新設改良（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
3	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	車両や歩行者等の安全な通行と利便性向上のため、狭い道路については、道路擁壁の改良や道路と縦断的に隣接している水路の暗渠化など、道路の拡幅を行う。  (令和5年度実績) 道路改良工事延長 162m			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	市民からの要望等を勘案し、必要性の高い箇所から路面の改良などを行い、通行の安全や通行空間を確保することで、効果的・効率的に事業を実施した。  また、令和4年度から令和6年度にかけて、広域緊急交通路に指定されている路線に対し、出水時の土砂流出などによる通行止め被害を防ぐことを目的とした道路法面对策事業を実施している。  危険度や改良工事による利便性の向上程度等を考慮しながら道路擁壁改良や水路の暗渠化、側溝の勾配不良改善など事業を推進することは、通行安全の確保だけでなく生活環境にも寄与するなど効率的であるため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。		
				うち一般財源		7,173	6,362	3,900			
				主な 内 訳	道路測量等設計等委託料	6,488	1,847	1,500			
					道路新設改良工事	50,085	67,515	55,900			
				人件費(b)		17,056	19,440	10,530			
年間経費(c)=(a)+(b)				73,629	88,802	67,930					
No.	事業番号	019-004	事務事業名	舗装補修	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
4	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	既設道路の舗装について、道路パトロールや市民からの要望等をもとに、現場確認を行い、緊急性の高い箇所から速やかに補修を行う。  (令和5年度実績) 要望対応件数 903件			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	舗装の損傷箇所について、緊急性の高い箇所から速やかに舗装補修を行った。また、点検・補修等のコスト縮減や効率化に向け、新技術を活用した維持管理について、有効性検証等を進めた。  社会基盤である道路の舗装補修は、安全・安心のため道路管理者として最も重要な事業であるため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		489,432	24,324	459,526			
				主な 内 訳	舗装補修工事設計	1,992	2,366	6,000			
					舗装補修工事費	627,897	727,312	752,026			
					負担金	26,243	14,808	18,000			
				人件費(b)		53,382	57,024	77,760			
年間経費(c)=(a)+(b)				709,514	801,510	853,786					

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-005	事務事業名	河川水路維持（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
5	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—				
		取組の方向性	—				主な取組	—				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路の構造物の修繕及び除草・清掃・浚渫等を行う。 （令和5年度実績） 要望対応件数 227件					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	市民からの要望等を勘案し、水災害の未然防止や水路の老朽化対策等のため、水路の整備工事や補修等を行った。 市街地における小規模な管理河川や水路については、昨今のいわゆるゲリラ豪雨等の水災害等の観点からも、河川水路等の維持管理は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。	
						うち一般財源		10,600	7,657	10,233		
						主な 内 訳	水路構造物ほか 修繕料等		860	612		1,892
							浚渫等委託料		1,595	1,081		1,800
							水路等整備工事費		7,763	5,576		6,000
							調整池観測局盤 通信回線使用料		362	388		541
維持補修用原材料費							20	0	0			
人件費(b)						4,100	4,050	4,050				
年間経費(c)=(a)+(b)		14,700	11,707	14,283								
No.	事業番号	019-015	事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
6	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	道路を構成する構造物（トンネル、ボックスカルバート、道路照明施設、道路案内標識等）について、長寿命化計画を策定し、点検・診断・措置（補修・更新）・記録のメンテナンスサイクルを構築し、計画的に維持管理を行う。 その結果、道路を安全・安心に通行できる道路機能を確保し、また維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図る。 （令和5年度実績） 道路照明灯点検 約900基 道路照明灯更新工事 約80基					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	各施設の長寿命化計画に基づき事業を実施することで、将来の財政負担を縮減した。 また、公共施設等適正管理推進事業債を財源に含むことで、本市の歳出を削減した。 資材価格の高騰などの社会的影響により、必要となる維持管理費が増加することによる計画の遅れが懸念されるが、新技術の導入による低コスト化に向けた取組みや、ライフサイクルコストの縮減に向けメンテナンスサイクルの見直しを行う必要がある。	
						うち一般財源		144,899	214,256	288,291		
						主な 内 訳	各種調査委託料		79,549	82,956		145,441
							整備工事費		76,202	79,134		152,650
							負担金及び 通信運搬費		68,543	134,759		135,000
									154	363		641
人件費(b)						41,984	45,360	50,220				
年間経費(c)=(a)+(b)		186,883	259,616	338,511								

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-020	事務事業名	泉北ニュータウン道路舗装更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
7	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性)に係る所見		
	老朽化が進んでいる泉北ニュータウン内の道路舗装について、計画的に舗装更新を実施し、舗装の長寿命化と予算の平準化を図るとともに、安全・安心な道路空間を確保する。  (令和5年度までの事業進捗) ・地区幹線道路 約30% 主にバス等が通行する道路や歩道がある道路等、道路幅員が概ね6m以上の道路 ・生活道路 約35% 主に道路幅員が6m未満の住宅地内の道路					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	財源に交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用や占用者工事と連携した取り組みを行うなどして、事業を推進している。 平成28年度を初年度とし、地区幹線道路(約80km)と生活道路(約120km)の舗装更新を順次進めており、計画的に事業を実施している。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。
						うち一般財源		268,242	209,093	288,251	
						主な 内 訳	舗装更新設計委託	6,134	0	1,000	
							舗装更新工事	184,209	149,311	210,951	
							舗装更新負担金	77,899	59,782	76,300	
人件費(b)						36,162	30,294	30,780			
年間経費(c)=(a)+(b)		304,404	239,387	319,031							
No.	事業番号	019-022	事務事業名	特殊車両通行許可事務	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業	
8	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—			
	取組の方向性	—			主な取組		—				
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性)に係る所見		
車両制限令に規定の車両の幅・長さ・高さ・重さ等の最高限度を超える車両の通行について、通行許可書の発行を行う。 他の道路管理者からの通行協議に対し回答する。					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	道路の構造を保全し、交通の危険を防止することを目的とし、特殊車両の通行許可、協議回答を適法、的確に実施している。また、協議回答に係るFAX受信は全て電子化し、送信に関しては内容を精査して使用枚数を削減するなど、事業の効率化を図っている。 (通行許可及び協議回答 約5,700件/年)	
					うち一般財源		5,261	5,347	6,123		
					主な 内 訳	報酬	4,283	4,439	4,276		
						インターネット回線 使用料	82	82	93		
						その他(消耗品等)	896	826	1,754		
					人件費(b)		23,780	23,490	27,540		
年間経費(c)=(a)+(b)		29,041	28,837	33,663							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-029	事務事業名	法定外公共物管理事務	所管局	建設局	所管課	法定外公共物課	分類	B 法定義務等事業	
9	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容				投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	法定外公共物の財産管理者として、使用許可、用地処理（売却等）、境界確定等、適正な管理を行う。 ①電気・ガス・水道等の法定外公共物の使用許可に関する事務 令和5年度新規許可件数 234件 ②売り払い等の用地処理に関する事務 令和5年度売り払い実績 9件 481.22㎡ 16,640,737円 ③境界確定協議に関する事務 令和5年度境界確定協議件数 159件 令和5年度謄抄本交付件数 98件 令和5年度情報提供件数 1,360件				事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	・様々な情報を集約した法定外公共物管理システムを活用し、財産管理事務（使用許可、用地処理、境界確定等）を行うに当たっての審査、調査等を効率的に実施している。 ・申請書類の受付等について、電子申請システムの活用により、サービスの向上と業務の効率化を図っている。 ・売却することが適当な市有地について、事前に土地価格を先方に提示することで売却を促進し、収入の確保と維持管理費の削減につなげている。	
					うち一般財源		18,637	17,441	21,693		
					主な内訳	法定外公共物管理台帳作成業務等委託料	8,312	6,541	9,805		
						報酬・期末手当	7,219	8,151	8,674		
						情報システム機器借上料	1,026	1,026	1,216		
						損害賠償金	0	0	0		
その他（消耗品費等）						2,080	1,723	1,998			
人件費(b)					99,900	98,900	98,600				
年間経費(c) = (a)+(b)		118,537	116,341	120,293							
No.	事業番号	019-030	事務事業名	内川排水機場維持管理	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業	
10	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.5,11.b			
	との関連	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進			
	事業内容				投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	・内川排水機場は設置から35年以上が経過していることから、施設の延命化を図るため、長寿命化計画に基づき、各機器の整備・更新を行う。 ・排水ポンプが常に正常な運転ができる状態に保つために、各種点検を行う。				事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	長寿命化計画等に基づく各機器の延命化、費用の平準化及び機能の向上を実施した。具体的には、「内川排水機場 1号ポンプ整備工事」を、令和5年度から令和7年度までの工期で契約締結し、後続作業の準備を行った。また、令和4年度から契約締結している「内川排水機場 3号ポンプ整備工事」においては、令和6年度の工事完了に向け現場作業を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金及び公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)を充当し、効果的かつ効率的に事業実施している。	
					うち一般財源		122,984	63,706	236,723		
					主な内訳	施設運転監視等委託等	47,523	47,512	55,000		
						冷却水ポンプ更新工事	6,746	0	0		
						内川排水機場 3号ポンプ整備工事	58,500	0	87,800		
						内川排水機場 1号ポンプ整備工事	0	0	51,000		
その他						10,215	16,194	42,923			
人件費(b)					14,760	14,580	14,580				
年間経費(c) = (a)+(b)		137,744	78,286	251,303							



令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-044	事務事業名	諏訪森神野線（延伸）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
13	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	慢性的な交通渋滞の要因である鉄道交差部の構造を改善し、幹線道路と接続することで、円滑な交通の確保を行う。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成4年5月29日～令和5年3月31日 事業区間：西区宮下町～西区神野町 路線延長：L=1,050m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 JR立体交差 1箇所 令和5年度は、当該事業区域の付帯工事として周辺整備工事や関係地権者との用地処理を実施した。					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	令和5年度に周辺道路から本線へのアクセスを向上させるスロープを整備し事業効果を高めた。また、鉄道事業者との用地処理を完了させた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%（令和5年度 2%増）	
						うち一般財源		22,598	40,341	2,700		
						主な 内 訳	工事費		8,306	12,496		2,500
							用地費		443	24,297		0
							測量等委託費		2,566	2,424		0
							物件移転補償金		1,087	0		0
その他							10,196	1,124	200			
人件費(b)						5,783	9,309	8,672				
年間経費(c)=(a)+(b)						28,381	49,650	11,372				
No.	事業番号	019-045	事務事業名	南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
14	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和33年1月25日 事業認可：平成27年2月23日～令和9年3月31日 事業区間：北区金岡町～東区白鷺町 路線延長：L=1,850m 道路幅員：W=22～45m 車線数：4車線 令和5年度は、用地取得を行い、道路・橋梁架設詳細設計及び地質調査を実施した。					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い着実に用地取得を進めた。 また、道路・橋梁架設詳細設計業務及び地質調査業務を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金等を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：78%（令和5年度 9%増）	
						うち一般財源		85,873	283,707	118,100		
						主な 内 訳	工事費		20,057	27,172		14,050
							用地費		0	1,420		36,500
							測量等委託費		56,113	26,244		68,000
							物件移転補償金		22,048	253,387		12,500
その他							4,985	0	0			
人件費(b)						2,727	2,656	1,100				
年間経費(c)=(a)+(b)						10,703	9,309	8,672				
年間経費(c)=(a)+(b)		96,576	293,016	126,772								

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-046	事務事業名	新家日置荘線（延伸）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
15	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	国道310号と南海高野線初芝駅を東西に結び、駅西側に駅前広場を設けることで、駅西周辺地区から駅へのアクセスの向上を図り、現在、初芝駅東側に集中している駅利用者の交通混雑を緩和する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成13年2月9日～令和5年3月31日 事業区間：東区野尻町～東区日置荘西町 路線延長：L=389m 駅前交通広場A=3,300㎡ 道路幅員：W=16m 車線数：2車線 令和4年9月に全線開通し、令和5年度は周辺整備工事を実施した。					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	令和4年9月に本路線が供用を開始し、駅西周辺地区から駅へのアクセス向上を図ることができた。 また、都市計画道路予定地である本路線駅前広場隣接地において、取得済みの用地を有効活用すべく舗装工事を実施し、本路線に係る周辺整備を完了させた。 用地取得率：100%	
						うち一般財源		74,945	1,892	0		
						主な 内 訳	工事費		14,244	1,892		0
							用地費		70,046	1,892		0
							測量等委託費		0	0		0
							物件移転補償金		4,570	0		0
その他							0	0	0			
人件費(b)						329	0	0				
年間経費(c)=(a)+(b)		7,751	9,309	8,672								
		82,696	11,201	8,672								
No.	事業番号	019-047	事務事業名	錦浜寺南町線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
16	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：令和2年3月12日～令和9年3月31日 事業区間：西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長：L=534m 道路幅員：W=25m 車線数：2車線 橋梁 1橋（橋長56.0m） 令和5年度は、橋梁予備設計業務を進めた。					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	大阪府管理の石津川を越える橋梁であることから、大阪府を含む関係機関等と協議を行い、橋梁予備設計業務を進めた。 用地取得率：100%	
						うち一般財源		0	7,300	32,800		
						主な 内 訳	工事費		0	7,300		21,950
							用地費		0	0		200
							測量等委託費		0	0		0
							物件移転補償金		0	7,300		32,600
その他							0	0	0			
人件費(b)						0	0	0				
年間経費(c)=(a)+(b)		5,783	9,309	8,672								
		5,783	16,609	41,472								

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-048	事務事業名	草尾南野田線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
17	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成26年5月28日～令和11年3月31日 事業区間：東区草尾～東区西野 路線延長：L=723m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 令和5年度は、用地取得に向けた物件調査及び進入路整備工事の発注準備を実施した。					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 また、令和6年度の用地取得を効率的に進めるため、丈量測量を行った。また、まとまった一定の取得済用地を活用し、R6から道路築造工事に着手すべく工事発注準備を行った。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：82% (令和5年度 0.2%増)	
						うち一般財源		8,459	4,386	13,885		
						主な内訳	工事費		1,562	0		25,000
							用地費		15,370	9,780		0
							測量等委託費		7,386	6,333		11,728
							物件移転補償金		0	0		0
その他							920	363	3,020			
人件費(b)						7,751	9,309	8,672				
年間経費(c)=(a)+(b)		32,989	25,785	48,420								
No.	事業番号	019-049	事務事業名	大阪河内長野線 (南余部・北野田地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
18	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成25年2月15日～令和3年3月31日 事業区間：美原区南余部～東区北野田 路線延長：L=500m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 橋梁 1橋 (橋長23.4m) 令和5年度は、事業に不要となった残地の処分に向けた測量及び本線にアクセスする階段設置について地元説明を実施した。					事業費(a)		0	800	6,800	事業区域外も含めて買収した土地について、道路供用により不要となったため、隣接地権者へ売却するため丈量測量を実施し、維持管理範囲の縮減、固定資産税等の税源及び財産売払い収入などの歳入確保の準備に取り組んだ。 また、緊急時に本線を避難路として活用できるよう沿道から本線へのアクセスを向上させるための階段整備について、地元説明を行った。	
						うち一般財源		0	800	2,300		
						主な内訳	工事費		0	0		6,000
							用地費		0	0		0
							測量等委託費		0	800		500
							物件移転補償金		0	0		0
その他							0	0	300			
人件費(b)						3,815	9,309	8,672				
年間経費(c)=(a)+(b)		3,815	10,109	15,472								

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-050	事務事業名	阪神高速道路(株)の事業に対する出資金	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	B 法定義務等事業	
19	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。本出資により阪神高速淀川左岸線2期工事の推進に寄与している。		
				うち一般財源		38,000	7,000	7,000			
				主な 内 訳	出資金		3,800	700			
					38,000	7,000	7,000				
人件費(b)		6,111	9,309	14,747							
年間経費(c)=(a)+(b)		44,111	16,309	21,747							
No.	事業番号	019-052	事務事業名	大阪河内長野線 (八下地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
20	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成28年3月29日～令和8年3月31日 事業区間：東区八下町 路線延長：L=220m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和5年度は、工事着手に向けた警察協議及び用地取得に向けた物件調査を実施した。			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	渋滞解消を目的とした道路の拡幅工事の早期着手に向け、警察協議を実施した。 また、円滑な用地取得の推進に向け地権者との協議を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：66% (令和5年度 12%増)		
				うち一般財源		49,145	16,222	15,710			
				主な 内 訳	工事費		5,035	10,268			
用地費					0	0	10,000				
測量等委託費					41,003	0	0				
物件移転補償金					7,040	14,641	5,400				
その他		0	0	0							
人件費(b)		1,102	1,581	310							
年間経費(c)=(a)+(b)		7,751	9,309	8,672							
		56,896	25,531	24,382							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-053	事務事業名	大阪河内長野線（北野田地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
21	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：令和2年3月6日～令和9年3月31日 事業区間：東区北野田地内 路線延長：L=670m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和5年度は、用地取得に向けた用地測量を実施した。			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	令和4年度に地権者へ事業認可取得に伴う法的制限や用地取得についての事業説明会を実施した結果、令和5年度は地権者からの同意を得て用地測量及び境界確定立会を実施することができた。 また、境界が確定した箇所から順次用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：7%（令和5年度 7%増）		
				うち一般財源		983	7,154	22,730			
				主な 内 訳	工事費	0	1,320	300			
					用地費	0	0	0			
					測量等委託費	983	4,883	21,400			
					物件移転補償金	0	0	0			
その他					0	951	1,030				
人件費(b)				5,783	9,309	8,672					
年間経費(c)=(a)+(b)		6,766	16,463	31,402							
No.	事業番号	019-054	事務事業名	大阪和泉泉南線（南陵町交差点）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
22	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成29年3月9日～令和9年3月31日 事業区間：堺区霞ヶ丘町1丁ほか 延長：L=131m 道路幅員：W=22m 車線数：4車線 令和5年度は、用地取得に向けた測量を実施した。			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	用地取得に向けた測量を実施することで、効率的に交渉・取得するための準備を行い、用地取得を着実に進めた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：34%（令和5年度 4%増）		
				うち一般財源		2,093	2,035	4,508			
				主な 内 訳	工事費	1,287	0	0			
					用地費	0	0	0			
					測量等委託費	806	1,620	4,196			
					物件移転補償金	0	0	0			
その他					0	415	312				
人件費(b)				5,783	9,309	8,672					
年間経費(c)=(a)+(b)		7,876	11,344	13,180							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-056	事務事業名	交通安全施設設置（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業		
23	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		道路の交通安全対策の推進					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	交通安全についての対策が必要な道路や踏切道の安全性向上等を目的とし、歩道設置や踏切改良等を実施する。 (令和5年度実施内容) ・踏切道内誘導表示の整備工事 ・踏切道の改良に伴う検討業務			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。			
				うち一般財源		9,284	14,967	57,562				
				主な 内 訳	設計、測量等		3,784	8,967				27,662
					工事費		3,628	9,969				28,062
					用地補償費		2,398	4,998				29,500
					負担金		3,258	0				0
その他					0	0	0					
人件費(b)				13,706	12,023	20,202						
年間経費(c)=(a)+(b)		22,990	26,990	77,764								
No.	事業番号	019-057	事務事業名	直轄国道負担金	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	B 法定義務等事業		
24	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	地方財政法第17条の2の規定及び道路法第53条等に基づき、直轄国道（国道26号）で実施する事業について負担金を支出する。 (令和5年度の主な事業) 住吉橋架替事業、電線共同溝事業等			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	本事業は、直轄国道（国道26号）で実施する事業に対して一定割合の費用を負担するものであり、国が計画的に事業を実施している。			
				うち一般財源		420,500	226,333	521,000				
				主な 内 訳	負担金		1,000	1,633				7,000
							420,500	226,333				521,000
人件費(b)				820	810	810						
年間経費(c)=(a)+(b)		421,320	227,143	521,810								

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-058	事務事業名	一般道路新設改良（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業	
25	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		道路の交通安全対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	生活道路及び幹線道路について、道路を新設・拡幅することで、利便性、快適性及び安全性を向上させる。 (令和5年度実施内容) ・道路拡幅工事 2か所			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。		
				うち一般財源		167,300	136,415	142,661			
				主な 内 訳	工事設計、測量等委託	47,458	45,735	35,159			
					工事費	103,118	83,755	90,100			
					用地費・補償費	16,424	6,826	16,092			
					その他（役務費、需用費、負担金）	300	99	1,310			
人件費(b)					40,180	31,590	31,590				
年間経費(c)=(a)+(b)				207,480	168,005	174,251					
No.	事業番号	019-061	事務事業名	南海本線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業	
26	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	鉄道高架延長：約2.7km 踏切除却数：7箇所 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 概算事業費：約423億円  令和5年度実施内容 ・鉄道仮線工事、一部高架工事 ・占用物移設工事 ・鉄道事業者と連携し、地域住民への周知、説明を実施			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	・事業スケジュールに基づき、鉄道事業者や関係者と調整を十分に 行い、概ね予定通りの工事進捗を確保することができた。 ・工事進捗に応じた関連工事の一体施工などの創意工夫とあわせ て、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業 に取り組むことができた。		
				うち一般財源		3,654,379	4,478,386	4,910,560			
				主な 内 訳	鉄道事業者施行及び 占用物件負担金	3,172,120	4,247,376	4,749,300			
					物件移転補償金	318,017	48,523	113,000			
					委託料	0	10,052	20,000			
					工事請負費	47,633	12,945	2,500			
その他					116,609	159,490	25,760				
人件費(b)				36,400	44,100	44,300					
年間経費(c)=(a)+(b)		3,690,779	4,522,486	4,954,860							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-062	事務事業名	南海高野線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業	
27	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	鉄道高架延長：約3.2 km 踏切除却数：10箇所 高架化される駅：浅香山駅、堺東駅  令和5年度実施内容 ・鉄道事業者との基本協定締結 ・鉄道調査設計 ・用地測量 ・物件調査 ・事業用地取得			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	・令和3年度末に事業認可を取得、令和4年度から事業に着手し、測量や物件調査を進め、地権者の事情に配慮した説明を行うことで、着実に事業用地の取得を進めることができた。 ・鉄道事業者との協議・調整を行い、基本的な役割分担や費用負担などを定めた基本協定を締結し、鉄道工事に関する調査設計を進め、鉄道工事着手の準備を整えることができた。		
				うち一般財源		132,753	170,038	425,577			
				主な内訳	工事設計、測量及び地質調査等委託業務	84,300	136,223	4,000			
					支障物件調査業務	10,107	20,721	84,000			
					用地測量等業務	35,800	0	67,937			
					鉄道事業者施行及び占用物件負担金	0	0	236,500			
その他					2,546	13,094	33,140				
人件費(b)				43,500	43,100	37,400					
年間経費(c)=(a)+(b)		176,253	213,138	462,977							
No.	事業番号	019-063	事務事業名	出島百舌鳥線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
28	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	来訪者や道路利用者の利便性向上と、駅前広場整備による交通結節点機能の向上及び安全で快適な駅前空間、歩道と車道を分離し、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成28年3月30日～令和10年3月31日 事業区間：堺区百舌鳥夕雲町ほか 路線延長：L=450m 道路幅員：W=16m 駅前広場：A=2,460㎡ 車線数：2車線 令和5年度は、用地取得に向けた物件調査及び測量を実施した。			事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	早期整備に向け、地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い、物件調査等を実施した。 世界遺産である仁徳天皇陵の玄関口となる駅前広場の整備を推進するため、測量業務を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：34% (令和5年度 6%増)		
				うち一般財源		25,328	8,939	121,661			
				主な内訳	工事費	4,347	0	7,200			
					用地費	0	0	83,500			
					測量等委託費	20,893	8,570	29,015			
					物件移転補償金	0	0	0			
その他					88	369	1,946				
人件費(b)				5,783	9,309	8,672					
年間経費(c)=(a)+(b)		31,111	18,248	130,333							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-068	事務事業名	公園施設管理事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業	
29	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用				主な取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営			
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性)に係る所見		
	都市環境の良好な景観の形成に寄与し、公園を快適に利用頂くため、既存の施設や樹木等については適切かつ効率的な維持管理・保全を行う。また、行政主導による維持管理中心の公園管理から、多様な主体との連携・協働による経営的視点・利用者の視点に立って、都市公園の管理運営を戦略的に推進する公園管理への転換を図る。公園の維持管理費を縮減し、より質の高い公園サービスを公園利用者に提供することで、公園の活性化を図る。 【令和5年度の実施内容】 ・樹木剪定や清掃等の維持管理業務、公園施設の修繕や改修工事、公園管理に要する光熱水費等 ・P-PFI事業の推進、指定管理による施設運営、公園愛護会活動支援					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	・競争入札による電気使用料の縮減（令和元年度より継続）等、維持管理費用の縮減を実施している。 ・効率的な維持管理や電気使用料の削減等を目的に、公園照明灯のLED化を実施している。 ・原池公園では、民間事業者のノウハウを活かした積極的な広報活動等により公園利用者数の増加が図られており、更なる歳入の確保も実現している。また、区民まつりや地域イベントが開催されるなど、地域の活性化にも寄与している。
						うち一般財源		1,996,754	2,005,591	2,187,029	
						主な 内 訳	維持管理業務等	987,557	1,019,456	1,102,747	
							施設修繕・改修等	368,478	407,131	422,876	
							その他維持管理経費	268,672	202,467	306,428	
							指定管理料等	244,200	260,875	226,099	
公園愛護会関連事業費						127,847	115,662	128,879			
人件費(b)		378,620	383,490	375,810							
年間経費(c)=(a)+(b)		2,375,374	2,389,081	2,562,839							
No.	事業番号	019-074	事務事業名	堺市緑の政策審議会	所管局	建設局	所管課	公園緑地整備課	分類	F 審議会・協議会等運営事業	
30	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(15)陸の豊かさを守ろう			
	2025 の施策 との関連	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進				ターゲット	15.1,15.2,15.5			
		取組の方向性	④生態系や緑の保全				主な取組	都市緑化の推進			
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性)に係る所見		
本審議会は、委員14人（市議会議員2人、学識経験者7人、市長が適当と認める者5人）で組織されており、市長の諮問を受けて、緑の基本計画や、その他緑の保全と創出に関する重要事項について、調査、審議を行うものである。 【令和5年度の実施内容】 ・令和5年11月8日 第1回審議会開催（堺市緑の基本計画における各取組事業の進捗確認について）					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	・第1回審議会:出席委員 10/14人、会議時間 1時間20分 ・堺市緑の基本計画における各取組事業について、事業進捗シートを作成し報告を行った。各事業を審議会で議論することにより各委員から課題の提起や事業進捗を管理するうえでのアドバイスをいただき、各事業課との連携やシートの改善に役立てることができた。 ・各委員へ審議会の内容を事前に説明したことにより、審議会での議論がより活発になった。	
					うち一般財源		414	170	529		
					主な 内 訳	堺市緑の政策審議会 委員報酬	316	102	429		
						印刷製本費	98	68	100		
						筆耕翻訳料	0	0	0		
					人件費(b)		8,200	8,100	8,100		
年間経費(c)=(a)+(b)		8,614	8,270	8,629							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-096	事務事業名	道路橋りょう維持	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
31	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	道路の清掃や除草、街路樹の管理、道路上にある土木施設の維持・管理・修繕等を行う。  (令和5年度実績) 路面清掃延べ延長 12,620km					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	樹木管理や清掃等の委託業務について、剪定や清掃回数の見直しを行った。また、対象路線の見直しを行い維持管理コストの削減を図ることで、効率的に事業を実施している。  なお、安全・安心に通行できる道路機能を確保するため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。
						うち一般財源		734,276	667,830	662,888	
						主な 内 訳	道路清掃、街路樹 管理等の管理費	1,071,272	1,143,113	1,218,392	
							街路灯、 防護柵等修繕料	622,565	471,999	442,347	
							側溝等整備工事費	191,070	185,898	187,802	
						人件費(b)		380,400	376,200	383,000	
年間経費(c)=(a)+(b)						2,265,307	2,177,210	2,231,541			
No.	事業番号	019-097	事務事業名	道路管理	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業	
32	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—			
		取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	道路法に基づく、各種手続き、許可並びに道路敷地の財産管理等を行う。 ①道路敷地の取得・処分に関し、登記・契約等の財産管理に伴う事務 ②沿道敷地所有者との協議により、管理する道路の区域を確定 ③道路の認定、廃止等に係る議会上程手続き及び議決後の認定・区域決定・供用開始等の告示事務 ④道路認定等の告示内容に基づき、道路台帳（調書・図面）記載事項の修正を行い、道路台帳を整備 ⑤電気・ガス・水道等のライフラインを始めとする道路占用物件の許可事務					事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	道路台帳の整備や道路占用許可などの手続きについて、道路台帳管理システムなど各種システムを活用し、事務の効率化を図っている。道路台帳に係るデータは普通交付税等の算出に用いる基礎数値とされている。交付税検査をはじめとした各種照会等に対応した仕様とすることで本市の回答及びその根拠資料を迅速かつ正確に提出できるようにしている。  道路の利活用として、歩道橋ネーミングライツ・パートナー事業を実施し、歳入確保をすすめている。当事業にかかる令和5年度の歳入は2,992千円であった。
						うち一般財源		98,657	103,480	120,971	
						主な 内 訳	道路台帳修正委託料	50,600	49,500	56,386	
							公共用地調査 測量等事務	2,924	1,150	8,300	
							道路占用物件管理 システム改修	0	2,156	0	
							道路交通情報提供業務	5,660	5,657	5,715	
その他の運営に係る 事務経費等							39,473	45,017	50,570		
人件費(b)		172,200	150,525	178,200							
年間経費(c)=(a)+(b)		270,857	254,005	299,171							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-098	事務事業名	常磐浜寺線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
33	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和元年9月19日～令和10年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長：L=520m 計画幅員：W29m 車線数：4車線 令和5年度は、用地取得に向けた物件調査及び特別会計からの用地再取得を実施した。			事業費(a)			R4決算	R5決算	R6予算	連続立体交差事業と一体的な整備を進めることで事業効果の早期発現が見込めるため、南海本線及び阪堺線付近の事業区間などにおいて、物件調査及び用地取得を着実に進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：39% (令和5年度 10%増)		
			うち一般財源			143,184	51,745	11,595			
			主な 内 訳	工事費			0	0			500
				用地費			64,649	39,683			0
				測量等委託費			23,496	10,895			10,000
				物件移転補償金			52,654	0			0
				その他			2,385	1,167			1,095
			人件費(b)			9,063	9,309	8,672			
年間経費(c)=(a)+(b)			152,247	61,054	20,267						
No.	事業番号	019-099	事務事業名	諏訪森神野線 (浜寺・浜寺東地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
34	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、生活道路への通過交通の抑制が図られるとともに、平行する道路の交通渋滞の緩和など交通処理機能の向上が図られ、災害時の活動など、防災機能の向上にも寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和4年3月4日～令和12年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町西1丁～西区浜寺諏訪森町東1丁 事業延長：L=569m 車線数：2車線 令和5年度は、用地取得に向けた用地測量を実施した。			事業費(a)			R4決算	R5決算	R6予算	令和4年度に地権者へ事業認可取得に伴う法的制限や用地取得についての事業説明会を実施した結果、令和5年度は地権者の同意を得て用地境界確定のための測量を開始することが出来た。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：0%		
			うち一般財源			0	1,844	8,720			
			主な 内 訳	工事費			0	0			0
				用地費			0	0			0
				測量等委託費			0	1,844			8,700
				物件移転補償金			0	0			0
				その他			0	0			20
			人件費(b)			5,783	9,309	8,672			
年間経費(c)=(a)+(b)			5,783	11,153	17,392						

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-101	事務事業名	公園施設長寿命化修繕事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業		
35	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	今後、急速に老朽化が進んでいく公園施設に対して、アセットマネジメント手法を取り入れた堺市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効率的な公園施設の維持管理を推進し、公園利用者が安全・安心で快適に利用できる環境を確保する。					事業費(a)			R4決算	R5決算	R6予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効果的に公園施設の改修等を実施した。また、交付金等を活用することで本市の歳出を削減することができた。</li> <li>各公園施設の重要度や規模等により、「予防保全を図る施設」と「事後保全とする施設」に区分し、計画的、効率的な維持管理を行うことで、公園施設の安全性や快適性を確保するとともに、維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図っている。</li> <li>令和5年度に実施予定であった公園施設健全度調査業務については予算を繰り越し、令和6年度に実施予定。</li> </ul>
						うち一般財源			46,885	17,681	118,495	
						主 な 内 訳	設計業務		25,445	8,226	17,000	
							整備工事費		292,525	216,226	336,295	
							各種調査・計画策定		12,987	0	97,000	
人件費(b)						41,000	40,500	40,500				
年間経費(c)=(a)+(b)			371,957	264,952	490,795							
No.	事業番号	019-109	事務事業名	河川水路維持 (河川水路課)	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業		
36	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—				
		取組の方向性	—				主な取組	—				
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	管理河川及び水路を良好な状態に保ち、安全で快適な河川環境を保全するため、構造物の修繕及び樹木管理・清掃・しゅんせつ等を行う。  【令和5年度実績】 樹木管理業務：10河川 浚渫等業務：2河川3水路 点検業務：2河川					事業費(a)			R4決算	R5決算	R6予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木管理や清掃等の委託業務について、令和4年度の実績を踏まえ発注内容の見直しを行い必要事項の整理・調整により効果的・効率的に河川環境の保全を行った。</li> <li>また河川点検結果より事前補修箇所の抽出を行い、今後の維持補修費用の平準化を図った。</li> </ul>
						うち一般財源			72,243	73,464	100,113	
						主 な 内 訳	内川ほか 樹木管理業務		12,619	13,623	12,000	
							狭間川ほか 樹木管理業務		11,641	12,038	13,000	
							大仙水路ほか道路 排水施設等清掃業務		9,405	9,733	10,000	
							管理河川点検業務		5,390	6,028	8,000	
その他						34,419	33,229	58,345				
人件費(b)			19,680	19,440	19,440							
年間経費(c)=(a)+(b)			93,154	94,091	120,785							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-110	事務事業名	泉北ニュータウン街路樹更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
37	基本計画	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
		事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
				事業費(a)	R4決算	R5決算	R6予算				
				うち一般財源	35,116	35,908	40,000				
				街路樹更新工事	35,116	35,908	40,000	平成29年度を初年度とし、約80路線（区間）と約6,000本の街路樹の更新を順次進めており、当該事業を行うことで、毎年、委託業務発注を行っている街路樹の剪定本数や除草面積の削減ができ、維持管理コストの縮減を図ることができた。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。			
				主な内訳							
				人件費(b)	4,100	4,050	4,050				
				年間経費(c)=(a)+(b)	39,216	39,958	44,050				
				泉北ニュータウン内において、倒木の危険性や、通行障害、景観機能の低下等が見られる老木化した街路樹の更新を行う。  (令和5年度までの事業進捗) 街路樹の更新 273本 進捗率 約35%							
No.	事業番号	019-112	事務事業名	大和川線周辺整備事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
38	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
				事業費(a)	R4決算	R5決算	R6予算				
				うち一般財源	104,802	180,923	81,500				
				工事費	27,405	50,560	81,500	令和5年3月に阪神高速道路（株）による西除川河川復旧工事が完成し、遊歩道を供用開始した。 歩行空間の環境改善を早期に図るため、令和5年度は、常磐黒土線の歩道拡幅・車道復旧工事を実施した。 また、大和川線周辺整備として、水防倉庫復旧工事及び管理用地整備工事を実施した。			
				主な内訳	103,371	129,827	81,500				
				用地費	0	0	0				
				委託費	946	4,914	0				
				負担金	0	45,530	0				
				事務費	485	652	0				
				人件費(b)	12,999	9,309	8,672				
				年間経費(c)=(a)+(b)	117,801	190,232	90,172				
				阪神高速道路大和川線は令和2年3月に全線供用した。 大和川線周辺において、阪神高速道路(株)が実施している西除川河川復旧工事(阪神高速道路(株)施工)や高規格堤防工事(国施工)等にあわせて、堺市が整備・復旧する必要がある道路工事等を実施する。 令和5年度は、歩道拡幅・車道復旧工事、水防倉庫復旧工事及び管理用地整備工事を実施した。							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-113	事務事業名	バリアフリー道路特定事業計画	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業			
39	基本計画	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを					
	2025 の施策 との関連	施策	(3) 市民の参加と協働による地域福祉の充実				ターゲット	11.7					
		取組の方向性	④面的・一体的なバリアフリー化の推進				主な取組	ウォークアブルな都市空間の形成					
			事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
						R4決算	R5決算	R6予算					
			堺市バリアフリー基本構想の見直しを受けて、重点整備地区内の新たに位置付けられた生活関連経路における道路について、道路特定事業計画を策定する。			事業費(a)			高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年 法律91号）より、基本構想が作成されたときは、関係する道路管理者は、当該基本構想に即して道路特定事業計画を作成するものとされている。 令和4年度以降、順次、基本構想の見直しが行われており、道路管理者として道路特定事業計画の更新を行うもの。				
						うち一般財源				0	0	5,000	
						主 な 内 訳	調査委託費			0	0	5,000	
						人件費(b)				0	0	14,747	
			年間経費(c)=(a)+(b)			0	0	19,747					